



COLOMBIA

安全！コロンビアの歩き方



謝辞

在コロンビア日本大使館警備班の方々

ロスアンデス大学の学生の方々

インタビューにお答えくださり、感謝いたします。

コロンビアで安全に過ごすための治安マニュアル

安全！コロンビアの歩き方

発行日：2019年8月

発行：ロスアンデス大学日本センター

Cl. 18a #0-07, Bogotá, Colombia

Tel: 031-339-4949 Ext.1016.

<https://uniandes.edu.co/centrodeljapon/>

制作：ロスアンデス大学日本センター

Copyright© 2019 Centro del Japón All rights reserved

INTRODUCTION

コロンビア = 危険？！**自分の身を守るために、結局はあなた自身の頭で
考えなければなりません。**

この治安マニュアルの目的は、日本人がコロンビアでの生活を正しく理解し、窃盗盗難などの犯罪被害を避けるための考え方を提供することです。日本の治安に対する常識は、コロンビアでは通用せず、日本では当たり前な行動が、コロンビアでは命取りになるのです。そこで、実体験等をまじえた判断材料を共有することで、みなさんが犯罪に合うリスクを下げ、コロンビアで楽しく生活できることに繋がりたいと思っています。

このマニュアルを作成するに至ったきっかけは、コロンビアは確かに日本と比較すると危ない国ですが、気をつけて生活・旅行すると、とても良い国であるということを伝えたかったからです。日本では、「コロンビアはマリファナやギャングなどが横行する危険な国。」というレッテルが貼られています。イメージが現実には先行していることもあります。コロンビアは、食も美味しく、街並みも綺麗で、人も優しく、訪れた多くの日本人が虜になる素晴らし

い国です。そこで、もっと沢山の日本人にコロンビアを訪れて欲しいと思っています。そのためにまず、コロンビアの治安の現状を知ってもらい、「意外と大丈夫だ」と見方を変えてもらうことが重要だと考えました。

ここで紹介することを守れば、絶対に安全という訳ではありませんが、この治安マニュアルを参考にいただき、皆さんが縁がなければなかなか訪れることのないコロンビアでの貴重な生活を楽しめることを願っています。

安全！コロンビアの歩き方

CONTENTS

04 みんなの盗難体験談

現地コロンビア人、日本人留学生の盗難体験から、盗まれないための教訓を学ぶ

08 コラム：エストラト

地区により公共料金の支払いが異なり、富の分配を目指す社会福祉システム。しかし、「お金持ちの居住区」「貧乏の居住区」という住み分けが発生。治安を理解するためのキーワード。

09 「安全な時間」、「安全な場所」は存在するのか？

「お金持ちの地区」は安全？昼間は安全？実は、時間・場所は絶対的な指標にはなりません。

10 土地勘を付けよう！ボゴタ編

ボゴタの観光名所を取り上げ、各場所の特色と防犯方法を紹介。

12 コラム：トランスミレニオ

ボゴタの公共交通機関。電車とバスが合体した不思議な乗り物。トランスミレニオでも盗難に注意！

13 実践：こんなに違うコロンビアの常識！！

「日本人っぽいクセ」が出てしまって盗難に遭わないよう、貴重品・荷物の持ち方を学ぼう！

16 コラム：タクシー

安くて便利なタクシー。ぼったくられないよう、きちんとシステムを理解！

17 もし盗まれても、被害を最小限にするために。

盗難ひとつで、泣きを見ないために、「盗難に遭っても良い準備」をしておこう！



「貧乏の居住区」



エルドラーダ空港



トランスミレニオ



パロケマオ市場



タクシー乗り場



ビジネス街



BOGOTÁ

首都ボゴタ



みんなの盗難体験談

コロンビアでは、10人に7人が盗難の被害に遭っているという報告があります。インタビューでの被害事例を元に、盗難を防ぐための教訓を学びたいと思います。多くの盗難は普段の生活の中で発生しています。なお、以下のインタビューは、ボゴタ市で行いましたが、コロンビアの他の都市でも似たような事例が確認されています。

- 1  コロンビア人大学生 女性 20代
 トランスミレニオMinuto de Dios駅付近 午後3時ごろ

トランスミレニオの駅でバスを待っている間に、携帯電話にイヤホンをつけて音楽を聴いていました。携帯電話はコートのポケットの中に入れて、手で握っていました。しかし、バスに乗り込む際に、後ろから誰かに押され、私はポケットから手を出し携帯電話を離してしまいました。その際に携帯電話を、ポケットから抜き取られました。助けを呼びましたが、誰も相手にしてくれませんでした。

- ⇒ 携帯電話はポケットの中に入れて、手で握っていても危険！
⇒ コロンビアでは盗みは日常茶飯事。駅局員や警察は、盗みに対して親身になって取り合ってくれない！自分の身は自分で守るしかない！

- 2  コロンビア人大学生 女性 20代
 旧市街レストランEje Ambiental付近 午後2時ごろ

旧市街（Eje Ambiental沿い）のあるレストランで、友人4人と昼食をとっていました。リュックサックを椅子の下に置き、持ち手を椅子の足にかけていました。しかし、席を立った際に、リュックサックが椅子の足からはずれてしまいました。その後、友人との会話に熱中している間にリュックサックのことは、すっかり忘れてしまいました。そして、レストランを出る際に、椅子の下にあるはずのリュックサックが無くなっていました。その日は、パソコン、タブレット、化粧品一式をリュックサックに入れて持ち歩いていたので、かなり大きな損失を受けてしまいました。

- ⇒ ちょっとした油断も禁物！かばんは、常にとられないように細心の注意を払う！
⇒ 高価なものはできるだけ持ち歩かない！

コロンビア人大学生 女性 20代
Torre Colpatria付近の路上 正午ごろ



3

ビジネス街 (Torre Colpatria 付近)を歩いて大学(ロスアンデス大学)に向かっていました。携帯電話はジャケットのポケットに入れて、手で握っていました。しかし、突然後ろから誰かに肩にツバをかけられたので、私は後ろを振り向き、ポケットから手を出し、肩を触りました。その際にポケットから携帯電話を抜き取られました。その後、近くにいた警察に助けを求めましたが、取り合ってもらえませんでした。

⇒ コロンビアの盗みはプロ！貴重品から気を逸られ盗まれる！

コロンビア人大学生 女性 20代
Santa Barbara地区 夕方5時ごろ



4

大学 (Santa Barbara地区) の休み時間に、男の友人と二人で食べ物を買いに道に出ました。リュックサックにはタブレット、ポケットには携帯電話を入れて、歩いていました。突然、バイクに乗った二人組の男が現れ、刃物を突き付けられました。リュックサックを取られ、さらにポケットを触られ、持っていたものを全て持っていかれました。

⇒ 複数人であるから安全とは限らない！

⇒ 外出時は常に周囲に怪しい人がいないか注意！

日本人留学生 女性 20代
トランスミレニオ (J73) 内 朝9時ごろ



5

大学に向かうためにトランスミレニオに乗っていました。その日、車内は特に混雑していました。背中にはリュックサックを背負い、体の前にポシェット (スナップボタン付き) をかけ、そこに貴重品を入れていました。はじめ、ポシェットの蓋を手で握っていました。しかし、車内は揺れ、私は立っているのが精一杯でした。それを見かけた隣にいたおじさんに、腕を掴むよう言われ、一瞬嫌な感じがし断りましたが、結局その言葉に甘えることにしました。その後さらに、後ろから別のおばさんに、「リュックが開いている」と話しかけられ、背中のリュックを確認するため後ろを向き、ポシェットから完全に手を離してしまいました。降車後にポシェットを確認すると、財布がありませんでした。あのおばさんに話かけられた際に、もう一人のおじさんからポシェットから財布が盗まれたと思います。！

⇒ →知らない人のことは安易に信用しない！

⇒ →盗みはグルになって行われることが多い！

6

👤 日本人留学生 女性 20代
📍 ZonaT (Calle 85) の雑貨店 夕方5時ごろ

リュックサックを背負い、店内で一人で買い物をしていました。いつの間にか女性二人組から後をつけられ、背後から財布を抜き取られてしまいました。その後、店内のごみ箱で財布が見つかりましたが、現金は抜き取られていました。

- ⇒ 店内、交通機関、外など、人が多いところではリュックサックは体の前に持つ！
- ⇒ 「おかしい」と感じた人からは、すぐに離れる

7

👤 コロンビア人主婦 女性 30代
📍 Av. Americas 夕方5時ごろ

子供を後部座席に乗せて車を運転していました。助手席にカバンを置いていました。交差点で右折しようとしていたら、助手席の窓がいきなり割られ、男が窓から手を突っ込み、カバンを盗んでいきました。その後、男は仲間のバイクに乗り逃走しました。

- ⇒ 車では、座席に荷物は置かず、椅子の下など外から見えないところに置く！
- ⇒ コロンビアでは、「Rompevidrios (ガラス割り)」として知られている

8

👤 コロンビア人社会人 男性 20代
📍 カレーラ・セプティマ

バスに乗っていました。リュックサックを後ろに背負っていました。後ろからおばさんが不自然に押してきました。バスを降りたいのかなと思い、道を空けようとしたのですが、まだ、押し続けてきました。その間に、リュックサックの前ポケットに入れていたデジカメが盗まれていました。

- ⇒ 「泥棒=男」ではない！おばさんの泥棒も沢山いる！
- ⇒ リュックサックの前ポケットに貴重品は入れない

9

コロンビア人社会人 男性 20代
ZonaT付近 夜中12時ごろ



友人とZonaT近辺のバーで飲み、酔っ払っていました。家に徒歩で向かいながら、携帯で話していました。突然二人組の男が現れ、携帯を渡すように強要されました。身を守るために、すぐに携帯を渡しました。

⇒ 酔っ払っている状態は危険！貴重品は出して歩かない！



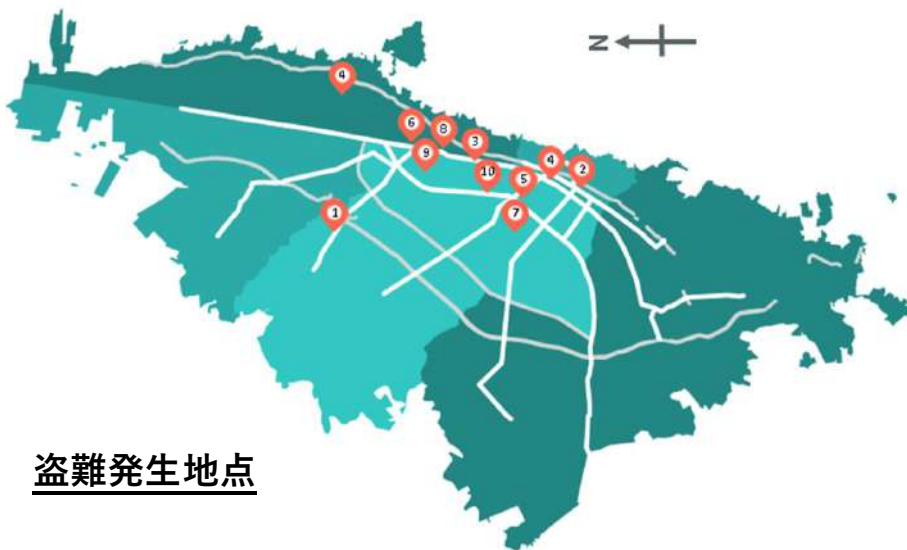
コロンビア人高校生 女性 10代
バス（カレーラ30）昼3時ごろ

学校からの帰りにバスに乗っていました。一番後ろの席で、ヘッドホンで音楽を聴いていました。隣の席に男の人が乗ってきました。しばらくすると、いきなり名前を尋ねられ、「今からこのバスを襲うけど、あなただけは助けてあげる」と言われました。「助ける代わりに」と、携帯、パソコン、財布など持っているものは全部渡すように言われ、怖かったので従いました。携帯やパソコンは、パスワードも開けさせられました。最後に、「次の信号で降りろ」と指示され、バスから降り、歩いて家まで帰りました。

⇒ バスの一番奥の席は、死角になりやすいから危険！

⇒ 精神的にも迫られる手口も多い！

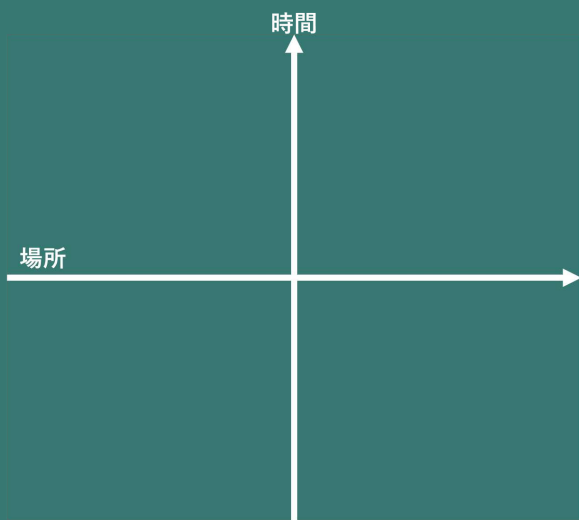
10



盗難発生地点

「安全な時間」、 「安全な場所」 は存在するのか？

「私は高級住宅街に住んでいるから安全」、「昼間しか外に出ないから安全」と考えていませんか？現実にはそれほど単純でしょうか。この章では、安全マニュアルを読んでくださっている皆さんに、体験談を振り返りながら、もう少し安全のエッセンスを加えたいと思います。

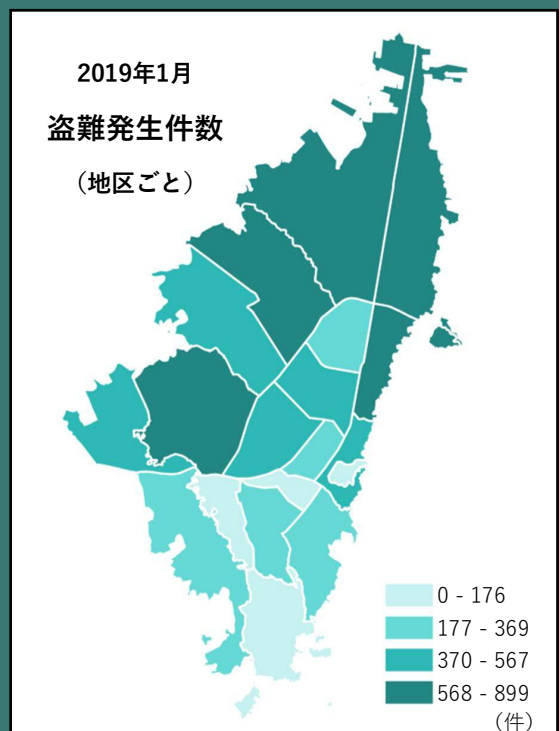


まず、常に自分の行動範囲を「時間と場所」の2つの物差しで考えてください。

例えば、住宅街では、昼間は人通りがあり、見渡しも良いので比較的安全と言えます。しかし、夜は人通りが少なくなり、死角も多くなり危険度が高まります。一方で、同じ夜でも、繁華街では人通りが多いため、夜中でも人の目があります。このように、一丸に「安全な時間」、「安全な場所」と言うことは出来ず、「時間と場所」の二つの軸で考える必要があるのです。

また、場所という物差しの正確さを再確認する必要があります。一般的に多くの犯罪・盗難はボゴタ市の南や旧市街(→コラム：エストラト参照)など、エストラトが低いとされている場所で発生していると言われています。しかし、実際は上記の体験談でも、統計でも多くの犯罪は安全とされている高級住宅街で発生しています。つまり、私たちの安全な場所のイメージは現実とは大きくズレが生じていることを今一度確認しましょう。

安全な場所、安全な場所は存在するのか？という問いに戻ると、その答えは、残念ながら、コロンビアに絶対的に安全な場所・時間は存在しないということです。そのため、イメージではなく、現実に基づいて時間と場所の2つの物差しで考えて自分の身を守る必要があります。



エストラト ESTRATO

コロンビアには、エストラト（社会経済階層）という仕組みがあります。社会福祉のシステムで、エストラトが高いほど公共料金の支払いが高くなり、エストラトが低いほど公共料金の支払いが安くなります。所得の高い家庭が、所得の低い家庭の公共料金を払うという仕組みです。これは6段階あり、1から数字が6に上がるにつれて、エストラトが高くなります。

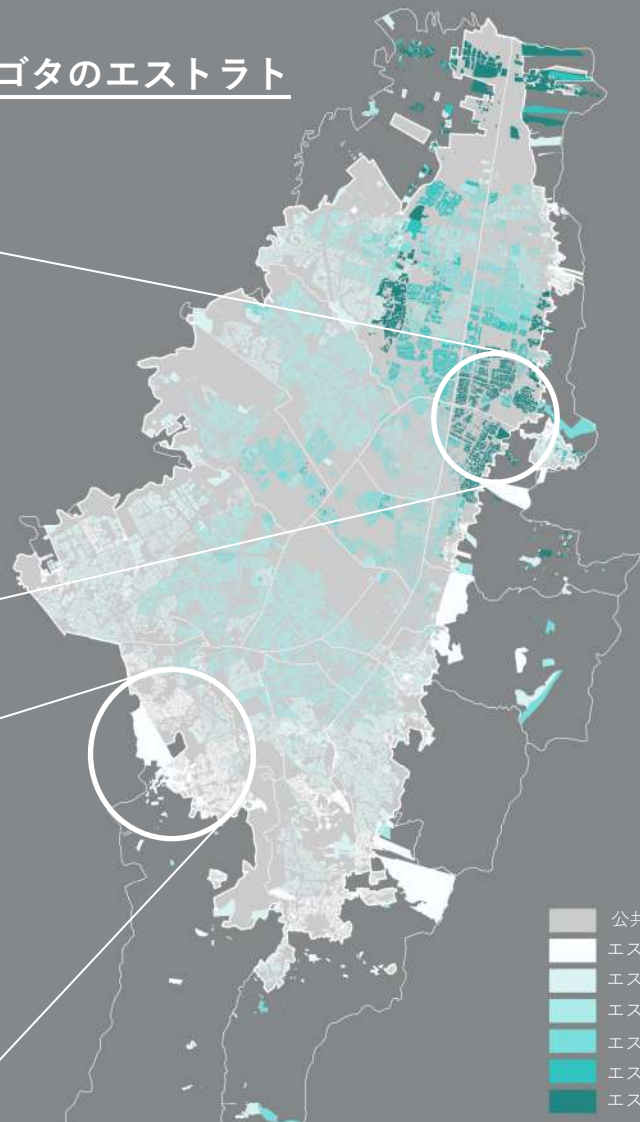
この仕組みにより、市民の中に「お金持ちの居住区」「貧乏の居住区」というように街の中で、階層による明確な住み分けがあります。例えば、ボゴタでは、「北がお金持ち」、「南が貧乏」というイメージがあります。さらに、治安の面では、一般的に「エストラトが低い＝危険」というイメージが持たれています。しかし、冒頭で説明したように、必ずしもそのイメージが現実と合っている訳ではありません。

ボゴタのエストラト

エストラト6の「お金持ちの居住区」



エストラト1の「貧乏の居住区」



土地勘を付けよう！ボゴタ編

治安対策の第一歩は、その街を知ることです。ここでは、日本人がボゴタで多く訪れる場所を取り上げ、各場所の特色と防犯方法を紹介します。

エルドラード国際空港 Aeropuerto El Dorado

1

巻頭のボゴタ地図も参照

コロンビアの玄関口エルドラード国際空港。この空港は整備がゆき届き、壁がガラス張りの洗練されている。しかし、その雰囲気には惑わされ気を抜くと危険。最も多い被害は置き引き。日本では空港でカバンを自分の体から離して置き、ベンチに座る姿がよく見られます。しかし、コロンビアでは一瞬でもスーツケースや手荷物から目を離してはいけません。



また、空港では何も知らない外国人に親切を装って近づき、犯罪を犯すケースが非常に多い。例えば、荷物運びの手伝いをすると近寄り、後で料金を払えと訴えてきたり、そのまま荷物を盗まれてしまったりという事例がある。自分の荷物は自分で管理し、きちんと「No gracias（結構です）」と言って断ろう。

さらに、空港へ特別な迎えが無い場合は、タクシーの利用がお勧め。空港には、写真のように、常に黄色いタクシーが並んでいる。空港からのタクシーは空港税が加算され、割増で請求されるが、その場合は旅行者だからと騙されている訳ではない。（コラム：タクシー参照）

パロケマオ市場 Paloquemao

7

ボゴタ最大の市場。南国ならではのフルーツや花など日本には見られない色鮮やかなものが集まる。沢山の売り場があり、四方八方からお店の人に声を掛けられる。つつい市場の賑やかな雰囲気や美しい品々に目が奪われてしまうが、自分の持ち物に注意するのを忘れないように。また、店でクレジットカードを使えない場合や、使えたとしてもスキミングといって、カードを通す機械からカードの情報を盗まれてしまう危険性もあるため、必ず現金を持っていくように。さらに、財布や大金を周囲の人に見せないよう、現金を小分けにして持つとより安全。



ウサケン Usaquen

2

植民地時代に外国人居住区として、邸宅が多く建築された地区。現在でもその名残があり、当時の邸宅を改装したレストランやお店が並ぶ。毎週日曜日にはマーケットが開かれ、民芸品や雑貨、オーガニック食品を求める沢山の人が賑わう。

この地区は高級住宅街で、日本人もこの近辺に多く住まう。安全な地区というイメージがあるが、住宅街であるため、特に夜は人通りが少なく、出来るだけ一人では歩かない方が良い。



ソナ・テ

Zona T, Calle 85

3

ボゴタの六本木と呼ばれる地区で、クラブやバーが沢山並びます。せっかくコロンビアに来たからには、一度はここでラテンのダンスやパーティーを楽しむことがお勧め。

しかし、パーティーに出かける際は、荷物は最小限に。最低限の現金、携帯電話、身分証明書程度にとどめておくように。多くのクラブにはクロークがあるので、そこに荷物を預けるのがお勧め。

多くのパーティーは、だいたい夜10時頃に始まり、深夜3時頃に終わるのが通例。不要不急の夜間の外出は控えることが基本だが、外出の際は、移動にはUberなど配給車アプリを使い、複数人で移動するなど、細心の注意を払おう。



旧市街・カンデラリア

Candelária

8

歴史的保存地区で、コロニアル建築が残り、中心のボリバル・プラザには、大聖堂や国会議事堂がある。日本人の間では、旧市街は安全だと思われているが、地元ではボゴタ市内でも、危険な地区として認識されている。そのため、カメラや携帯を出さないことはもちろん、貴重品はカバンの奥底やジャケットの内ポケットに入れて持ち歩こう。写真をどうしても撮りたい場合は、使い捨てカメラなど盗まれても良いカメラを使用する。

また、体験談にあったロスアンデス大学もこの地区近辺にある。大学周辺は警察や警備が巡回していますが、一本でも筋を違えば人通りの少ない危険な路地に入ってしまうこともある。



ソナ・ヘ

Zona G

4

ボゴタのグルメ街で、多くのレストランが並ぶ。日本人が経営する日本料理屋もこの地区にいくつかある。この地区も富裕層が住まい、安全だと言われている地区ではあるが、このすぐ近くに貧困地区が存在。そこに住む人たちの多くが犯罪をするという訳ではありませんが、油断は禁物。



アベニーダ・チレ

Avenida Chile, Calle 72

5

日本大使館も位置するビジネス街で、メガバンクや外資系、日経企業もこの辺りにある。そのため、警備も厳重だが、外国人が多く行き交うことが知られているため、外国人を狙った盗難が多いため、注意が必要。



サリトレ地区

Ciudad Salitre

6

計画的に開発された住宅街で、マンションが林立。日本で言うところ「大阪府の千里ニュータウン」のようなエリア。地区内に大型ショッピングモールが3つあり、緑地も多く、ファミリー層に人気の地区。また、幹線道路沿いに位置し、トランスミレニオの駅も近く、交通の便も良い。この地区でも、夜は人通りが少なく、注意が必要。



トランスミレニオ TRANSMILENIO



トランスミレニオって何??

ボゴタ市は大阪府に匹敵する人口・面積を有しますが、鉄道は走っていません。その代わりにトランスミレニオという交通機関があります。トランスミレニオは、電車とバスを合体させた様な乗り物です。道路ではトランスミレニオ専用レーンを走り、電車に乗るようにプラットフォームでバスを待ちます。また、運賃は一律\$2,400（約100円）で、市内を自由に移動できるのも魅力です。トランスミレニオは、世界的にも画期的な公共交通システムだと、注目を浴びています。

トランスミレニオでの身の守り方

いざ乗ってみると、トランスミレニオの雰囲気は、日本の電車のそれとは全く異なります。

▶頻繁に起きる盗難

まず、盗難が非常に多いです。ボゴタの80%の人が利用するため、午前7時—9時の通勤時や午後4時—7時の帰宅時にかけては駅やトランスミレニオの中で人が身動き取れないほど、ひしめき合います。人混みに紛れ盗難犯罪が多く行われ、日本人だけでなく、コロンビア人もよく被害に遭っています。トランスミレニオの中では貴重品はポケットに入れず、カバンは必ず前にしてしっかりと両手で持つことを心がけましょう。

▶Coladosを見たら、どうする？

次に、お金を払わずに乗車する人たちがいます。“Colados”と現地では言われています。毎日見かけるほど、ありふれた光景であり、社会問題となっています。そうした人たちに、正義感から注意したいと思う人もいるかもしれませんが、しかし、気の強いコロンビア人とは喧嘩になってしまうことがあるため、まずは自分の身を守ることを優先しましょう。

▶物乞いされたら、あげるべき？

さらに、車内で物売りや物乞いをする人たちが多くいます。要らない時は、「No gracias（結構です。）」と言い断りましょう。また、ものを購入する際は、財布ごと出すのではなく、小銭やお札だけを出すようにしましょう。物乞いをする人たちについて、もしあなたがお金やものを恵む気持ちがあれば、彼らに恵んでも問題はありません。しかし、そうではない場合、「No quiero（嫌です。）」や「No tengo（持っていません）」とはっきり断りましょう。



改札口：ICカードにより事前に運賃を支払う



東京メトロのように人で溢れかえる構内

「日本人っぽい」クセが命取り?!

実践：こんなに違うコロンビアの常識！！

日本で携帯電話はどこに入れて持ち歩いていますか？ズボンのポケットに入れていませんか？それでは、コロンビアでは泥棒の格好の標的になってしまうでしょう。では、コロンビアでは、どのようにしたら良いのでしょうか。盗みに遭わないために、是非、以下の例を頭に入れて対策をとりましょう！

● 携帯電話の持ち方



コロンビアでは、写真のように、ズボンに入れて携帯電話を持ち歩く人がいる。目が行き届く場所であり、体に密着しているため、スリには合いにくいかもしれない。しかし、それは携帯電話を持っているということ、さらに高額なものを持っていることを周囲に知らせることになる。日本人が持っている携帯電話は、コロンビアでは高額なものが多い。目を付けられ、すきを狙って盗まれる可能性がある。



ジャケットの内ポケットは、比較的安全と言えるだろう。他人からは、目につきにくく、手が届きにくいいため盗まれにくい。



ズボンのポケットに入れていると、とても盗まれやすい。特に、お尻のポケットに入れていると自分の目が届かず、また入れていることも忘れてしまいやすいため非常に危険だ。



経験談でもあったように、コートやジャケットのポケットから携帯電話が抜き取られることはコロンビアではおきまりの手口だ。



携帯や財布などの貴重品は、リュックサックの大きいポケットの、他の荷物の奥に入れて持ち歩くと盗られにくくなる。また、カバンはチャックがついて締められるものがベター。

● 携帯電話の持ち方 リュックサック編



日本では、リュックサックの横ポケットや前ポケットに、携帯をしまうのは普通のことだ。確かに、それは便利だが、自分にとって取りやすい位置は、他人にとっても盗りやすいということを忘れて欲しい。

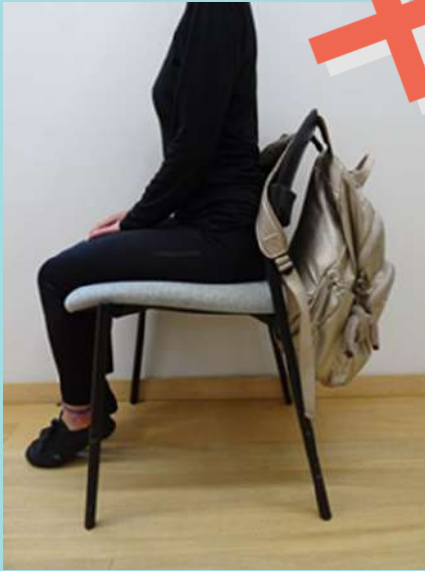


● リュックサックの持ち方

バスに乗る際や、人混みの中では、リュックサックを体の前に持とう。体の後ろに持っているとき、自分の目が届かず、気が付かない間に盗まれ



● レストランでの荷物の置き方



椅子の後ろにリュックサックを掛けるこの置き方は、とても危険だ。目が届かず、体にも触れていないため、食事や会話に熱中している間に、いとも簡単に盗まれてしまう。置き引きは、日本人の間で最も多い盗難被害です。椅子の下に荷物を置くのも同じように目が届かず危険だ。



リュックサックの持ち手を椅子の足にかけよう。そうすることで、物理的に持っていきにくくなる。しかし、トイレや物を取りに椅子を離れた際に、リュックサックの持ち手が椅子の足から外れてしまうことがあるので、もちろん注意が必要だ。



さらに、リュックサックを足で挟むと、安全度が高まる。

タクシー TAXI

ボゴタ市内のタクシーは、日本と比較し安いいため、より気軽に利用できます。しかし、明らかに外国人であると分かる日本人は、ぼったくられる危険性もあるので、料金システムをきちんと理解しておきましょう。

タクシー料金制度

コロンビアの多くの都市では、タクシーメーターが付いています。メーターは、100mごとに82ペソ加算され、目的地に到着すると、メーターが止まります。そのメーターの数字に基づき、運賃が提示されます。メーター表は、タクシーの中にあります。運賃表を見て、必ず請求された額がっているか確認しましょう。



タクシーアプリ

道端で流しのタクシーを利用するのは、強盗の可能性もあり危険です。スマホアプリでタクシーは呼ぶようにしましょう。GPSを用いて追跡されているので、比較的に安全と言えます。

おすすめ!

・ Taxis Libres



・ Easy Tappsi



● ボゴタ市内のタクシー運賃表

項目	料金	日本円
初乗り運賃	\$4,100	138円
100mごとの運賃	\$82	2.7円
待ち時間 (24秒ごと)	\$82	2.7円
空港税	\$4,100	138円
夜間税 (午後8時～午前5時)	\$2,000	68円
週末税 (日、祝)	\$2,000	68円

● タクシーメーター



(\$1000=33.817円 : 2019年7月)

出典 : ボゴタ市交通局

【盗難に合っても良い準備?!】

もし盗まれても、被害を最小限にするために。

盗まれない備えも大事ですが、盗まれる準備も大事です。いざ盗難に合ってしまったとしても、できるだけダメージが小さく済むように、日頃から盗まれることを想定した準備をしておきましょう。

1

武器を突き付けられたら
持ち物を差し出す

ナイフやけん銃を突き付けられて強盗に合うこともあります。その時は、抵抗せずに持ち物を差し出しましょう。物は後で取り返すことができますが、命は取り返すことはできません。



2

カード類、大金、パソコンを
持ち歩かない

必要以上の大金や、カード等は家に置いておきましょう。パソコンも出来るだけ持ち歩かないようにし、大学や会社のものを使用しましょう。万が一盗まれても額が小さければ、被害も抑えることができます。



3

キャッシュカードなどを
2枚以上コロンビアに持って行く

もしカード等が盗まれたら、すぐに銀行やカード会社に電話をし、カードを止めをしましょう。しかし、一度カードを止めると、二度と使用することができません。日本から新しいカードを郵送してもらうには、かなりの時間と費用、労力を有します。そのため、念のため長期滞在の場合は、キャッシュカード、クレジットカードそれぞれ2枚以上持って行くことをお勧めします。

4

バスカードを登録する

ポゴタでは、バスカードを登録することができます。登録をすると、バスカードが盗まれた際は、バス会社に電話して止めてもらうことができます。また、新しくカードを作った際には、元々入っていた金額がカードに含まれます。そのため、バスカードが盗まれても、カードに入っていたお金を取り返すことができます。登録は、各Portalや、ポゴタ庁舎で行うことができます。

コロンビア連絡先

・在コロンビア日本国大使館

Cra. 7 #71-21 Torre B Piso 11, Bogota

Tel: 031-317-5001

<http://www.colombia.emb-japan.go.jp/>

・日本センター

Cl. 18a #0-07, Bogotá

Tel: 031-339-4949 Ext.1016.

<https://uniandes.edu.co/centrodeljapon/>